

「読書好き」の子どもを育むための取組

朝来市立朝来中学校

全校生

取組名

「一つ大人になる君に」

～友達へ、子どもたちへ、今薦めたい一冊を紹介しあおう～

《取組の流れ》

- 中学校、校区内小学校で「おすすめ本」のポップ、スライドを募集、作成する。
- 保護者や地域の方からも、今の子どもたちに読んでもらいたい本の名前と関連したメッセージが書かれたカードを作成してもらい、地域の『あさご森の図書館』にて、本と合わせて展示し、地域交流を図る。

■中学校区の小学校との連携ポイント

読んだ本を紹介する

- ・中学生は友達に紹介したい本のスライドを作成する。小学生は図書委員会中心におすすめしたい本のポップを作成する。
- ・地域の図書館に展示することで、さまざまな人の感想を共有することができる。

大人から子どもへ

- ・保護者の言葉が書かれた本紹介を目にすることで、新しい気づきにつながる。
- ・家庭でのコミュニケーションのきっかけとなり、本の魅力を伝えあう機会になる。

「あさご森の図書館」

来館者を増やすために

- ・小学校、中学校、保護者や地域の方が作成したポップやメッセージカードを本とともに展示した。
- ・友だちのポップやスライドを見て、紹介された本を読む取り組みを行うことで、来館者数、本の貸出数の増加を促した。



子どもの変容と課題

子どもの変容

- ・「本を読むのが苦手だが、『読みたい!』と思う本を見つけた。」という声が聞かれた。
- ・本について語ったり、友だちと意見を交流したりすることも増え、「読書の面白み」を感じられたと答える生徒が増えました。
- ・生徒会選挙の公約にも図書室、図書館の来館者数を上げたいという思いを掲げる生徒が増えた。

課題

- ・アンケートからも浮き彫りとなったが、読書する時間は学校のみという生徒が多く、また、学校での読書する時間の少なさが課題であると思われる。